

令和元年度「大分県女性のチャレンジ賞」 受賞者紹介

受賞者	所在地 (住所)	設立(活動 開始)	活動内容
<p>【個人】</p> <p>カワヅ ナツコ 河津 奈津子</p> <p>(有限会社 まめろし 代表)</p>	<p>日田市 大山町</p>	<p>平成12年～ ※有限会社 を設立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 有限会社まめろしを東京で起業、日田市若宮町に地産地消にこだわった飲食店「まめろし」を開店。日田市大山町へUターン後、飲食店を子育て中の母親が集えるコミュニティカフェとして活用。 ● 「日田ソーシャルビジネス研究会」創設メンバーの1人、高齢者が住み慣れた地域で野菜を作り続け、それを買い取り地元の飲食店で提供する「おすそわけ野菜」事業を考案。 ● 自らが経営する飲食店で、おすそわけ野菜を活用、高齢者の生きがいの創出、子育て中の母親の集う場、地産地消という地域のテーマを、ソーシャルビジネスとして展開。
<p>【個人】</p> <p>カワノ シズコ 河野 志寿子</p> <p>(有限会社 カハノフーズ 代表取締役)</p>	<p>宇佐市 樋田</p>	<p>平成26年～ ※代表取締 役に就任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇佐市で鶏の飼育・加工・販売を一貫して行うカハノフーズに社員として勤務、社長(実父)の急逝により代表取締役役に就任。 ● 地元企業の副産物(大麦発酵液)を活用した銘柄鳥「すもう鶏」、廃棄していた鶏ガラを活用したスープ「極めだし白星」を開発、鶏糞を堆肥化してゆず農家に提供、地域に貢献できる経営を実践。 ● 社員には夫婦もおられ、子育て世代が働きやすい環境づくりに取り組む。 ● 地域住民や観光客向けのイベントに積極的に参加、多岐にわたるチャレンジ。
<p>【個人】</p> <p>ヤマツキ ミエコ 山月 美江子</p> <p>(NPOはさま 未来クラブ 理事長)</p>	<p>由布市 挾間町</p>	<p>平成13年～ ※事務局長 に就任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在代表を務める「NPOはさま未来クラブ」は、挾間地域で頑張る人、歴史文化などを紹介する広報誌の発行、伝説・民話の保存継承活動など地域コミュニティの活性化に貢献。 ● 地域放課後子ども教室「学楽多塾」は地域の様々な団体の方が講師になり、学習支援・クッキング教室など、保護者を巻き込んだ居場所づくりや女性が活躍する場づくりを行う。 ● 県生活学校運動協議会の運営委員として、レジ袋削減、食品ロス対策などの環境保全活動に貢献。 ● 学校図書館活用アドバイザーとして学校の読書活動推進にも貢献。